

⑤ 「美しいと思うもの」①

「一段落目」自分が美しいと思うものにはどんな条件があるか

(例)

これまで生きてきた中で、「きれい」とか、「かついい」とか思った物や人や景色などはいくつかありますが、「美しい」とまで言えるようなものは、正直あまり思い当りません。それに、「美しい」なんて言葉を使うのはかなり恥ずかしく、勇気がいります。そこで、あくまでも一般的にはどんなものが「美しい」とされるのかについて書いてみますが、「美しい」ものとは整っているもので、「醜い」ものとは散らかっているものではないでしょうか。「美しさ」の条件は、「普通」に比べて相対的に整っていることだと思えます。

「二段落目」一段落目に提示したことについての説明。

(例)

もちろん、この条件に当てはまらないものもあるかもしれません。例えば、年老いた老人が釣りをしているところを描いた水墨画とか、ぼろぼろの廃墟となったビルを映したモノクロ写真などが、芸術作品として評価されていたりします。実のところ、僕には芸術の事なんかほとんどわかりません。だから、芸術作品を見ても意味不明なものの方が多いです。それでも、今挙げた例は、実際僕自身が見て「いいな」と思った作品です。老人や廃墟などは、失礼ながらはつきり言って醜いものなので、「美しさとは整っていること」という条件のリアルな反例になっていると思います。しかし、一般的に言えば、「美しい」とされるものの例は、圧倒的に整っているものの方が多いはずです。前に出した老人の絵や廃墟の写真の例にしても、何かが他と比べて整っているからこそ、僕も「いいな」と感じたんだと思います。

「三段落目」具体的な例や体験を挙げながら、意見を展開する

(例)

身近な例として、整理整頓されている机の上や部屋の中と、散らかり放題になっている机や部屋を比べたら、誰でも何の照れや恥じらいもなく、前者を「美しい」と言うことができるでしょう。そう思っただけで周りをみると、散らかっている本棚や、汚れているトイレなどは醜く、その逆はたいして「美しい」と感じられません。観光地にあるような美しい風景とかも、山並みとか町並みなど、何らかの形できれいに整っているのだと思います。富士山はごみがいっぱい散らかっているから世界自然遺産になれなかったと聞いたことがありますが、散らかっているなら、きれいに片づけてしまえばいいわけです。そうすれば、机も部屋も富士山も、美しさを取り戻すはずです。といつても、顔の形などの場合、散らかっている人は美容整形とかに行かなければ整えられないので、そう簡単に何でも整えられるわけではないかもしれません。

「四段落目」結論・まとめ

(例)

散らかった顔を整えるのはあきらめるとしても、机や部屋は整えられるので、僕も身の周りを美しい状態にしておけるよう努めたいと思います。